ニッケイ新聞
JORNAL NIKKEY SHIMBUN
DIRETOR PRESIDENTE
RAUL M. TAKAKI
JORNALISTA RESPONSÁVEL
Aldo Shiguti , MTb 36.982
Rua da Glória, 332 - Liberdade
CEP 01510-000 - São Paulo - SP - Brasil
Tel (11) 3340-6060 | www.nikkeyshimbun.jp

ミランダ氏「金曜に国は真実を知る」

コバクシン疑惑をＣＰＩで
大統領関与の証拠を証言へ

【既報関連】22日付エスタード紙の報道で噴出したインド製コロナワクチン「コバクシン」に対する保健省の過払い疑惑に関し、「私はボルソナロ大統領に直接警告した」との主張を行ったルイス・ミランダ下議に対し、ボルソナロ大統領とオニキス・ロレンゾーニ官房長官は23日、連邦警察に同下議を捜査させると発表した。ミランダ氏はこれを報復的な威嚇行為とみなし、25日の上院のコロナ禍の議会調査委員会（ＣＰＩ）での証言を宣言。「連邦政府を打倒する」と息巻いている。24日付伯字紙が報じている。

政府逆ギレ、捜査命ずる

3月面会時のミランダ氏とボルソナロ大統領（Twitter）

保健省が今年2月にインドのバーラト・バイオテック社との間に、当時まだ最終治験段階でしかなかったコバクシン2千万回分の購入契約を、当初知らされた単価の10倍の値段で結んでいた疑惑はエスタード紙が報じるとそれだけで激震が走ったが、それにミランダ下議が追い打ちをかけている。

ミランダ氏の主張によると、同氏は3月20日、兄弟で保健省勤務のルイス・リカルド氏とともに「コバクシンの購入契約に関して不審な動きがある」と申し出ていた。リカルド氏は3月31日に、検察庁でも証言している。

ミランダ氏はすでにエスタード紙に、自身がワッツアップで大統領秘書と行った通話内容、さらに大統領と面会したときの写真なども提出している。大統領との面会はその当時、マスコミも報じていたことが明らかになっている。ミランダ氏によると、このときに大統領は「連邦警察にこの件を調べさせる」と約束したという。

だが、その後も大統領や連邦警察からの連絡はなく、ミランダ氏が3月22、23日に大統領の補佐官に連絡をとったときも、明確な返答はなかったという。

だが、この過払い疑惑が報じられた後、ボルソナロ大統領は連邦警察に対し、ミランダ下議を捜査させるように動いた。そして、その旨を受けたオニキス官房長官が23日午後に記者会見を開き、ミランダ、リカルド両氏が問題にした保健省の契約資料は、この両者が偽造したでっちあげだと言い切り、この2人を連邦警察に捜査させると、ミランダ氏を威嚇するように言った。

これに対し、ミランダ氏はネット上で失望を表明。同氏はツイッターで、「大統領、私はいつでもあなたを擁護してきた。それなのに、あなたは私を断罪する気なのか」と記し、「ならば私はあなたを倒すだけだ」「金曜日に伯国は真実を知ることになるだろう」と宣言した。

金曜日とは今日25日のことで、ミランダ氏とリカルド氏の2人は上院コロナ禍ＣＰＩで証言することが決まっている。リカルド氏は保健省内のロジスティック担当でもあり、アマゾナス州マナウスの医療崩壊の件でも証言を行う予定だった。

ＣＰＩのオマール・アジス委員長はすでに、ミランダ氏のコバクシン疑惑の暴露に関して、「非常に重い」との見解を示しており、「連邦政府崩壊の可能性さえある」と語っている。

一方、24日、連邦警察はボルソナロ大統領からはコバクシンに関する捜査要請が行われていないと発表。ミランダ氏の証言が正しければ、大統領は「疑惑を知っていながら黙認していた」ということになる。

上院コロナ禍ＣＰＩは24日、ミランダ氏とリカルド氏の身辺警備の必要について話し合った。また、アジス委員長たちは、ミランダ氏が提示した書類に記載され、代金を受け取ることになっていたマジソン・ビオテック社は架空会社との見方を強めている。

印刷版読者限定
セルラーで新聞を読もう!!
Whatsapp で配信中

サレス環境相が突如辞任

不正告発や連警捜査圧力に

【既報関連】23日夕刻、リカルド・サレス環境相の辞任と、ジョアキン・アルヴァロ・ペレイラ・レイテ氏の後任指名を告げる号外の連邦官報が出たと23、24日伯字紙、サイトが報じた。

サレス氏は5月19日に行われた連警の「アクアンドゥバ作戦」の捜査対象の一人で、不法伐採や違法木材の輸出疑惑への関与、環境監視機関の活動妨害、不正な金の授受などの嫌疑がかけられている。同作戦では連邦直轄区と聖州で同氏関連の企業などの家宅捜査が行われ、銀行・財政関連の情報開示命令も出た。

同作戦の管轄はアレッシャンドレ・デ・モラエス最高裁判事だが、法定アマゾンでの不法伐採や違法木材輸出ではカルメン・ルシア最高裁判事が担当する案件もある。また、新たな捜査開始要請が出る可能性がある。

サレス氏辞任への直接的な圧力は米国からの違法木材輸出告発や連警による捜査開始だ。だが、同氏は就任直後から前任者達とは異なる行動が目立ち、大統領の手足となり、国際社会の流れに反する環境政策を推進していると言われてきた。

その一例が、環境監視機関である国立再生可能天然資源・環境院（Ｉｂａｍａ）や生物の多様性保全のためのシコ・メンデス研究所（ＩＣＭＢｉｏ）などの活動を制限、妨害するような動きだ。

また、生態系を壊し、環境汚染を促すような法案承認や、法定アマゾンを保護するためのアマゾン基金への資金拠出国からの批判に耳を貸さず、国際会議では金をせびるといった面もあった。

4月の気候変動フォーラム前も不法伐採撲滅には金が必要と訴え、欧米諸国から、具体的な目標や実際の活動、その結果を見せなければ資金は出せないと拒絶された。法定アマゾンでの不法伐採や森林火災、先住民の人権蹂躙は国際社会からの批判の的で、欧州連合と南米南部共同市場の自由貿易協定締結でもボトルネックとなっている。

サレス前環境相（Jose Cruz/Agencia Brasil）

後任にも「同類」と批判の声

大統領が好むイデオロギー派の操り人形と評された閣僚の辞任や解任は、アブラアン・ウエイントラウビ前教育相、エルネスト・アラウージョ前外相、エドゥアルド・パズエロ前保健相に続くものだ。大統領は22日も、農牧業やアグリビジネスの躍進は農務・環境両省が一体となって実現したものとし、サレス氏を称賛していた。

サレス氏は辞任の際、「伯国は今年から来年にかけ、国内外での重要な会議に参加する。皆の関心と要望、努力を結集させる必要があるから、可能な限り穏やかな解決を願って辞表を提出した」とし、「後任は経験豊かで環境問題も熟知しているジョアキン・アルヴァロ・ペレイラ・レイテ局長」と語った。

レイテ氏は持続可能な発展と森林局局長だったが、昨年9月に法定アマゾンと環境サービス局と改名後は新局局長を務めていた。また、農牧生産者や食品加工業者らを代表する伯国農村協会（ＳＲＢ）の審議会メンバーを23年間務めていた。農牧議員代表のセルジオ・ソウザ下議は歓迎の意を表明したが、環境活動家からは既に、「大臣は変わっても大きな変化は望めない」と批判的な声が出ている。

ルーラ裁判「モロ判決に偏り」正式に

擁護派４判事いたが覆らず

23日、最高裁で判事投票が中断していた、ラヴァ・ジャット作戦（ＬＪ）の担当判事だったセルジオ・モロ氏のルーラ元大統領に対する判断に関する審理の続きが行われたが、未投票だった判事たちがモロ氏に有利な票を投じたものの、結果は変わらず、モロ氏は「偏った判断があった」との結果に終わった。24日付伯字紙が報じている。

この件に関しては4月22日に、最高裁の全体投票で「モロ氏に偏りがあった」との判断が過半数を超える7票入ったため、実質的には決まっていた。だが、マルコ・アウレーリオ判事が票の見直しを求めたために、同判事とルイス・フクス長官の2票を残したところで中断となっていた。今回の審理再開は、7月12日に定年退職となるアウレーリオ判事たっての願いでもあった。

4月当時から予想されていたように、アウレーリオ判事とフクス長官はモロ氏を擁護した。アウレーリオ判事はモロ氏を熱心にかばい、ルーラ氏に関して「最高裁によって政治的に復活した」とまで言い切った。

また、かねてから最高裁きってのラヴァ・ジャット支持者と目されていたフクス長官は、モロ氏の判断に疑問がもたれるきっかけとなった、2019年にハッキングされた携帯電話の内容でモロ氏が判断されるのは公正でないと説いた。

だが、この2人の票が入ったところで、ジウマール・メンデス、リカルド・レヴァンドウスキー、ローザ・ウェベル、カルメン・ルシア、アレッシャンドレ・デ・モラエス、カシオ・マルケス、ジアス・トフォリの全7判事の判断は覆せず、最高裁全体投票7―4で「モロ氏の裁きには偏りがあった」という判決が下った。

これによって、5月に最高裁の全体投票で決まった、ルーラ氏を有罪としたパラナ州連邦地裁でのラヴァ・ジャット裁判の判決も正式に無効となった。

ルーラ氏は21日に、第2期政権の頃に自動車製造業界に便宜を図る暫定令を作成して承認された疑惑に対する捜査「ゼロテス作戦」に関しても、連邦直轄区連邦地裁の判断で裁判対象から外されたばかりだった。

モロ氏（Fabio Rodrigues Pozzebom）

東西南北

現在の伯国を代表する映画監督クレベール・メンドンサ・フィーリョが7月に開催される、フランスのカンヌ映画祭で審査員をつとめることになった。メンドンサ・フィーリョといえば、2019年に伯国で大ヒットし、日本も含めて国際的にも高い評価を得た社会風刺アクション・ホラー、「バクラウ　地図から消された村」で一躍その名を知られた人だ。同作が注目されるきっかけとなったのは、カンヌに出展して審査員賞を受賞したこと。今回、逆に審査する側に回ったのは彼にとっては栄誉であり、カンヌへの恩返しといったところか。世界中の評判の良い実力派の監督が腕を競い合うことで知られるカンヌ映画祭。今年の開催は7月6日から17日だ。

◎

伯国内屈指の視聴率を誇る人気番組「ＢＢＢブラジル」。同番組は視聴者参加型の生き残りゲームで、今年優勝して国中の有名人となったジュリエッテは、21日にネット上でボルソナロ大統領を批判。その影響で彼女は数日でネット上のフォロワーを4万5千人失った。すごい数字に聞こえるが、彼女のフォロワー数は3100万人で、減った数は0・2％にも満たない。大統領の影響の大きさを示すにはもう100万人くらい減らすくらいの勢いが必要か。

◎

23日に行われたサッカーの全国選手権。ここまで勝ちのないサンパウロはこの日も苦戦し、本拠地で、しかも今季1部に昇格したばかりのクイアバーと2―2の引き分けに終わった。これで、開幕から6戦で3敗3分。まだ32試合残っているとはいうものの、そろそろ勝ちにいかないと、今のままでは首脳陣交代も十分起こり得るのでは。

コパ・アメリカ　セレソンが3連勝飾る

試合終盤にコロンビアを逆転

23日、サッカーのコパ・アメリカで伯国代表（セレソン）対コロンビアの一戦が行われ、後半終盤に試合をひっくり返し、2―1で勝利したセレソンが3連勝を飾った。24日付伯字紙が報じている。

リオ市のニウトン・サントス・スタジアムで行われたこの1戦、先制したのはコロンビアだった。前半10分、クアドラードがあげたクロスを、ディフェンダーのかげになる位置にいたルイス・ディアスが、意表をつくオーバーヘッド・キックでそのままシュート。これがゴールに突き刺さって1点を先制した。

試合はセレソンが一方的に攻めたが、コロンビア側の守備がかたく、なかなか点が入らなかった。後半25分にはネイマールがゴール前でキーパーをかわし、得点するかに思われたが、押し込もうとしたボールがポストに跳ね返されるなど、運もなかった。

だが、後半33分、レナン・ロディからのクロスを途中出場のフィルミーノがヘディングで押し込んだ。コロンビアがオフサイドを主張する微妙なものだったが、ＶＡＲ判定で得点が認められ同点となった。

最後は10分間のアディショナル・タイムの終了間際に、ネイマールからのコーナー・キックを受けたカゼミロがヘディング・シュートを決め、セレソンが逃げ切った。

セレソンの次戦は27日のエクアドル戦だが、セレソンはすでに、7月2日からの決勝トーナメント進出も決めている。

米国が伯国にワクチン寄付

ヤンセン社製３００万回分

新型コロナの感染状況が悪化し、予防接種を加速するよう求める声が高まる中、米国がヤンセン社製のワクチン300万回分の寄贈を決めたと23、24日付伯字紙、サイトが報じた。

伯国での新規感染者は15日に直近7日間の平均が7万人を超えたまま、23日には1日の新規感染者が過去最多となる11万5228人を記録。1日の平均は7万7328人となった。

感染状況悪化は、聖州では新規感染者の平均が1万7千人／日を超える状態が8日続き、1万7千人超えが2日だった4月より深刻といった24日の報道でも明らかだ。

その一方、新型コロナのワクチンの在庫が切れて接種を中止した市が増えている。初回接種を中止しているのは州都だけではなく、南大河州では23日に60以上の市が初回接種を中止したという。23日に接種を再開した聖市でも、24日には100余りの保健所（ＵＢＳ）でワクチンがなくなった。

保健省はワクチンが納品され次第、各州に送っているが、需供バランスが崩れている。需給バランスが崩れた事には、接種日程が異なるため、他の州や市に行って接種を受ける人が増えている事も影響している。伯国で使うワクチンは完成品や有効成分を輸入に頼っている事も原因だ。24日には世界保健機関傘下のコバックスファシリティによるラ米地区へのワクチン供給量が減るとの報道もあった。

それだけに、1回だけの接種で良いヤンセン社のワクチンの寄付は朗報だ。到着は25日で、ケイロガ保健相と米国大使館の代表がヴィラコッポス空港に出向いてワクチンを受け取る。

ニッケイ新聞ガインターネットサイトでも！
日系社会、ブラジル社会、世界情勢ｅｔｃ
サイトでしか見られないブラジル情報も！
最新ニュースをお届け！　→有料サイトへご登録を（一部無料）
www.nikkeyshimbun.jp

ニッケイ新聞出版、宮坂国人財団・アリアンサ日伯文化連盟協賛
ブラジル版いよいよ販売開始!
日ポ生活会話ガイド
o Jeitinho no Japão para os brasileiros
ブラジル人のための ニッポンの裏技
Guia Prático para viver no Japão
暮らしに役立つ日本語便利帳
▶日本語とポルトガル語の勉強にすごく便利
▶面白くて分かりやすい
▶画像付き日常生活の会話
▶カテゴリー別、辞書付き
▶日本の生活ガイドにも
前版大好評 全巻売り切れ!!
ご注文・お問い合わせ先
詳しくはニッケイ新聞社 11-3340-6060 担当マリアまで
郵便でのご注文の方は、●太陽堂 ●フォノマギまで
●ニッケイ新聞社 11-3340-6060　●太陽堂 11-3208-6588　●フォノマギ竹内書店 11-3104-3399
特別価格 R$50

ペルー大統領選

「いざとなれば国外脱出も視野」

在留邦人に聞く現地の緊迫感

日系社会の８割はケイコ支持か

「無理やり新憲法を作って、国会の閉鎖や私有財産の制限、メディア規制が行われる可能性があります。そうなれば私もペルーに残るかどうかを真剣に考えなければいけなくなりそうです」――６日に行われたペルー大統領選挙の決選投票に関して２４日昼現在、全国選挙審議会は正式な当選者を発表していない状態だ。急進左派のペドロ・カスティヨ氏と中道右派のケイコ・フジモリ氏の開票結果が切迫していたこともあり、現地日系社会も固唾を呑んで成り行きを見守っている。匿名を条件に、日系人と結婚して首都リマ近郊に在留する邦人Ａ氏に現在の緊迫した状況を尋ねた。

ペドロ・カスティヨ氏（PROF. JHOJAN RAMOS-wikimedia commons））

Ａ氏は「ケイコ氏は、自由経済路線を継続させることを明確に打ち出しているので、中・高所得層から強い支持を得ています。ペルー日系人の多くがこの所得層であり、私の印象ではペルー日系社会の８割はケイコ氏を支持しているのではないかと思います」と現地の雰囲気を説明する。

全国選挙審議会が投票結果の見直しを行い、ケイコ氏が逆転勝利になった場合「政敵や対立勢力が多いので、社会紛争が激化しそうな点が心配です」とも。

犯罪外国人を７２時間以内に国外退去？

その一方、当選の可能性が高いカスティヨ氏に対しても不安がある。「カスティヨ氏は『大統領就任の暁には、大統領令を発して、犯罪外国人を７２時間以内に国外退去させる』と公言しています。これは、ベネズエラから人国した１００万人以上の移民とそれに伴う犯罪率の増加を念頭においての発言ですが、その基準は明確にされておらず、恣意的な法運用の余地が多いため、私を含めた外国人居住者は不安を感じています」と言う。カスティヨ氏には外国人全般が不安を感じており、企業関係者などにもそれが広がっているようだ。

鉱山国有化で中国を敵にまわすか

大統領選前、カスティヨ氏が所属するペルー・リブレ党は、特定産業の国有化及び特定品目の輸入停止、第二次農地改革の実施を公約に掲げていた。選挙終盤に公約への不安感などからペルー通貨・ソルが下落すると、これら政策の撤回を発表し、国内外に穏健化の姿勢を示した。

しかしＡ氏は「党内の急進派や党の実権を握っているとされる党創立者で書記長のウラジミール・セロン氏の意向次第では、この先の方針変換は充分に起こり得ると懸念が持たれています。経済政策として挙げていた、特定産業の国有化対象には、中国が開発に多額を投じた銅鉱山事業などが含まれています。ペルー輸出業者協会のレポートによれば、２０２０年６月現在のペルー総輸出額の２７・５％は中国が占めており、もし国有化政策が実施されれば、中国との関係悪化は避けられず、ペルー経済も大きく悪化するでしょう」と今後の経済運営への不安点を指摘する。

ケイコ・フジモリ氏（Congreso de la República del Perú derivative work: Athenchen, CC BY 2.0 <https://creativecommons.org/licenses/by/2.0>, via Wikimedia Commons）

加えてＡ氏は「同党が現在の国会以外に制憲議会を発足させ、新たな憲法を作ることを強く主張している点も心配です。この主張は国会では絶対に承認されないので、国民投票に訴えて無理やり制憲議会と新憲法を作ってしまう恐れがあります。そのようなことになるのはおそらく２０２２年以降になると思いますが、新憲法下で国会の閉鎖や私有財産の制限、メディア規制が行われる可能性があります」と見ている。これら急進左派政策が突き詰められた場合には、冒頭の在留邦人の「国外脱出」も選択肢に入ってくるようだ。

今後５年間は受難の年

さらに「ペルー・リブレ党幹部の中にはテロリストグループのセンデロ・ルミノソと深い関わりを持つ者もおり、テロ活動が活発化しそうなのも心配要素の一つです」とも。センデロ・ルミノソは父フジモリ元大統領が事実上壊滅させた極左テロ組織だ。

日本との関係に関しては「これまでペルーと日本は、ブラジルと同様に日系社会が懸け橋となって、緊密な友好関係を築いてきました。カスティヨ氏が当選したとしてもその方向性に変化はないと思います。しかし、カスティヨ氏が選挙終盤で発表した穏健化政策を否定するようなことになった場合には、ペルー国内の日本企業にも悪影響が及ぶだけでなく、ペルーを取り巻く国際環境が一変するので、ペルーと日本の関係も友好的な関係がベースとなりつつも、変化が生じることは避けられないと思います。ペルーと日本の二国間関係が今後も緊密で友好的であり続けることを強く願っています」と日秘関係悪化の可能性も捨てきれない状況だという。

最後にＡ氏は、「いずれにしても、ペルーは政治の不安定さにより、今後５年間は受難の年になりそうです」と締めくくった（注＝本記事の取材は、今後のペルー政治情勢を鑑み、匿名掲載と印刷版・ＰＤＦ版のみで公開することを条件に行われた）。

樹海

ワクチン接種の列

なんともブラジル的な接種スケジュール

１３日の日曜日、それは突然訪れた。この日、聖州が５０代のワクチン接種予定を突如、「１６日からにする」との発表を行った。まず、これに面食らった。

当初の予定では５０代のワクチン接種は８月２日から。対象者となるコラム子はその心積りでいたのが、突然「数日後」になったわけだ。

ちょうど現在、州内でコロナ第３波が話題になっていたタイミングだったので「ありがたい」とは思ったが、「情報を聞き逃さないでラッキーだった」というのが正直な気持ちだった。

そこからは逐一、自分の接種日がいつになるのかネットで毎日チェックしたが、それでも驚くことは少なくなかった。まず翌１４日、聖市のサイトで、１６日からのはずの接種開始が、この日に前倒されたことを知った。幸いこの日はコラム子の対象日ではなかったが、もし１６日のつもりでそのままにしていた人は困ったことだろう。

混乱が起きぬよう、具体的な年齢で接種対象者を市が振り分けた結果、コラム子は土曜日の１９日となった。「よかった。勤務日と重ならなかった」とホッとしたはずだった。

だが、この日の接種がちょっとした一苦労だった。聖市南部に住むコラム子の自宅から歩いて５分のショッピング・センターはドライブスルー接種会場に指定されていた。

妻もすでにそこで接種を終えていたから勝手もわかって楽なはずだった。だが、妻の運転する車に乗っていざ会場に着いてみると「ワクチンが在庫切れで接種ができない」と言われ愕然とした。

仕方なく、そこから車で５分くらいの距離にある大型薬局に行ったが、そこでも在庫切れと言われた。

そこから、モルンビ・スタジアムのドライブスルーに行くことも考えたが、妻が両親に聞いてもっと近場のＵＢＳを聞きつけ、直行した。

すると、コラム子が過去に足を踏み入れたことのない場所にあったそのＵＢＳ前には長蛇の行列ができていた。妻は子供の昼食を理由にコラム子を現地に置いて帰宅した。

「ワクチンの在庫切れさえなければ、こんな面倒なことには」と多少憤ったが、幸いにして回転は悪くなく、１時間足らずで無事にアストラゼネカのワクチン接種を終えた。

あとから聞いた話によると、１９日から２２日にかけてワクチン不足に陥ったのはコラム子の地元だけではなく、市内の３００会場以上で起こったことだったという。

「そんな状況で受けられなかった人は続出しなかったのか」との疑問が浮かんだが、それでも市の発表では、市内１４０万人いる５０代のうちの９割方は、その唐突な１週間ほどの期間で接種できたというから、計画はうまくいったということなのだろう。

「要領は悪いがなんとかなる」。なんとも伯国式な接種スケジュールだった。（陽）

琉武会

与那嶺範士80歳過ぎて意気軒昂

毎日欠かさず巻藁を正拳突き

【既報関連】６月１８日付け移民の日特集号掲載「東京五輪予選＝与那嶺ニコリ選手惜しくも代表落選＝剛柔流・与那嶺育孝範士の孫」で取材した「沖縄空手道剛柔流武術協会琉武会総本部」１０段範士の与那嶺育孝会長（沖縄県）は、８０歳になる今も衰えを知らず、連日道場で稽古に励む。最近の心境や珍しい「巻藁稽古」について取材した。

与那嶺さんは１９４１年、沖縄県中頭郡西原町生まれ。１３歳から空手を始め、６１年、２０歳で家族と共に農業移民として渡伯。「ブラジルで空手の指導者になる」という夢を掲げ、家業の傍ら稽古を行った。６７年に妻エレーナさんと結婚、沖縄県人会ビラカロン支部の柔道場で教え始めた後、現在の道場「琉武会総本部」を建てた。現在も同道場での指導や稽古に励む。

与那嶺さんは、サンパウロ市ビラカロン区に本部を置く「沖縄空手道剛柔流武術協会琉武会総本部」会長で範士十段。範士は武道における最高位の称号で、同氏は日本国外在住者で初めてそれを取得した功労者。

「空手が本当に好きでね、指導や試合の為に今まで沖縄に３０回以上足を運んだ。沖縄にいくたびに向こうの空手道場で一寝泊まりしたよ」と柔らかい口調で空手への愛を語る。

巻藁で鍛えられた与那嶺さんの拳頭（同氏息子公彦氏の道着を着用）

琉武会総本部道場内 与那嶺夫妻とその娘達（左端が長女シモーネ氏、右端が４女ユカ氏）（撮影の為、一時的にマスクを外している）

ハワイでも「慰霊の日」

若い世代が戦争学ぶ

【共同】沖縄県民が多く移り住んだ米ハワイで２２日夜（日本時間２３日午後）、沖縄戦の犠牲者を追悼するイベント「Ｉｒｅｉ Ｎｏ Ｈｉ」がオンラインで開かれた。移民のひ孫ら１９～２３歳の男女６人が、沖縄の「慰霊の日」に合わせて企画。沖縄戦の生存者にインタビューをし、若い世代が戦争の実態を学ぶ様子を記録した動画を配信した。

動画には７６年前の沖縄戦当時７歳だった男性が登場。日本兵や住民の遺体を踏み越え逃げた記憶を淡々と語った。日系の若者が、日本軍が１０代の学徒らを動員した「鉄血勤皇隊」や「ひめゆり学徒隊」について紹介。沖縄民謡「ていんさぐぬ花」の三線演奏も披露された。

ハワイ大に通う日系４世のアマンダ・ニッタさん（１９）は取材に「今回の企画を通し、沖縄戦の残虐性を知ることができた」と意義を語った。

イベントはハワイ沖縄連合会の主催で２０１６年に始まった。今年は新型コロナウイルスの影響で、昨年に引き続き対面での集会を見送った。

世界空手道連盟（ＷＫＡ）から認定された一級審判員についても「審判員としても世界中回った。『日本、沖縄の空手が世界各国でどのように伝えられ行われているか』それを自分の目で見たくて審判員を引き受けたんだ」

稽古指導を今も行う理由について「何よりも口先だけの指導はしたくない。稽古をやって見せて生徒に教える。口先だけで指導する人は世の中に沢山いるが、正しい指導をする為には自分が苦労しなければだめ」と真っ直ぐに見つめる。

与那嶺範士の空手歴は６７年程。その長年の経験から他流派の空手でもその人の動きを見れば悪い所がわかるという。「空手を長年してきたから、その人の体・手・足の動きをみればどこが悪いかわかる。流派関係無く直すことができる。そうやって糸東流を習う孫ニコリに指導したんだ」と笑顔を浮かべる。

同氏は空手を始めた当初から毎日「巻藁稽古」を行う。これは拳を鍛える稽古方法。藁を巻きつけた硬い木の板に、拳や手足を打ち付けて鍛える。形や寸止め全盛の現在、実際に殴るという実戦的稽古は珍しい。特に拳には関節があるので鍛えても強度には限界があり、骨折しやすい。それを補うのが鍛錬の積み重ねだ。

昨今では失われつつあるこの稽古だが、この練習を続けると人差し指と中指の拳頭に「拳ダコ」ができる。拳を守ると同時に、相手を突く時に大きなダメージを与える。

「巻藁は毎日欠かさずしている。７５歳までは１カ月１万回以上、今は少し減らしたけど月に６千回以上叩いている」と話す。「たまに拳ダコがあるのを忘れて目の痒みを手の甲でこすってしまう時がある。あれは目の皮を痛めるから本当に注意しないとね」と優しい笑顔で笑いを誘った。

その他、世界空手道連盟（ＷＫＡ）が認定した唯一の沖縄出身一級審判員で、南米や北米、ヨーロッパなどでも指導し、世界大会に出場する選手を多数育て空手普及に貢献した功績を持つ。２０１２年にはサンパウロ名誉市民章も授与した。与那嶺さんの長女シモーネ・ハツミさんの娘三女ニコリさんは６月１１日にパリで行われた東京五輪空手部門選手選考大会に出場した。（淀貴彦記者）

■訂正■

２４日付本面記事「ニッポンベビーダス＝首里最古の酒蔵の泡盛輸入開始＝瑞穂酒造、自慢の古酒５種類」に誤りがあった。

輸入するきっかけとして「川添氏や当時の沖縄県人会会長であった島袋栄喜氏と、市内の沖縄料理店『でいご』で食事した際に意気投合し、泡盛を輸入して広めようという話になった」とあったが間違い。

正しくは「ジャパン・ハウス内のレストランで行われた在聖総領事館とＪＥＴＲＯサンパウロ事務所の共催の日本食普及イベント『和牛と泡盛の夕べ』で同氏らが歓談し泡盛輸入の機運が盛上った」。お詫びの上、訂正する。

いろんな痛みと病気に針灸 ACUPUNTURA
Dra. MONICA Y. MORISHITA
Biomédica 生物医科学
Pós-Graduação em Acupuntura
大学院で針灸学を専攻いたしました
電気鍼療法
もぐさ、レーザー
磁石による治療
体重減少にも効果的
LOCAL: Rua Thomaz Gonzaga, 95 - M (Iwate-Kenjinkai)
Liberdade - São Paulo - SP (perto do metrô Liberdade)
CONTATO: (11) 99236-3956 "Recado no WhatsAPP"
E-mail: monicamorishita@yahoo.com.br

柔道連盟が東京五輪出場者を発表

日系人4人を含む13人

ブラジル柔道連盟（CBJ）が16日午後、東京五輪に出場する選手13人のリストを発表したと同日付アジェンシア・ブラジルなどが報じた。

発表はユーチューブを使ったバーチャル形式で行われ、CBJのシルヴィオ・アカシオ・ボルジェス会長が、選手とスタッフを紹介した。

東京五輪に向けた強化部長はネイ・ウイルソン・ペレイラ氏、男子チームのコーディネーターはマリオ・ツツイ氏、監督はマルセロ・ティオニオ氏、女子チームのコーディネーターは篠原ルイス氏、監督は藤井裕子氏が務める。

出場選手は以下の13人だ（敬称略）。

《男子》60キロ級：エリキ・タカバタケ、66キロ級：ダニエル・カルギニン、73キロ級：エドウアルド・カツヒロ・バルボーザ、81キロ級：エドウアルド・ユウジ・サントス、90キロ級：ラファエル・マセド、100キロ級：ラファエル・ブザカリニ、100キロ超級：ラファエル・シルヴァ（通称ベイビー）。

《女子》48キロ級：ガブリエラ・チバナ、52キロ級：ラリッサ・ピメンタ、63キロ級：ケトゥレン・クァドロス、70キロ級：マリア・ポルテラ、78キロ級：マイラ・アギアル、78キロ超級：マリア・スエーレン・アルテマン。

今大会の代表選手は7人が初出場で、過半数を占める。男子の五輪経験者はブザカリニ（16年リオ）とベイビー（12年ロンドンと16年リオ）で、2大会で銅メダルを一つ、2年ごとに7人ずつ計14

特別寄稿

教育の大切さ教えたJICA隊員
ホンジュラスの「米百俵」精神

サンパウロ市在住　酒本恵三

「百俵の米も、食えばたちまちなくなるが、教育にあてれば明日の一万、百万俵となる」との主張を押し切って、米百俵を売った資金で学校を作った小林虎三郎（Unknown authorUnknown author, Public domain, via Wikimedia Commons）

江戸期の驚異的な就学率

日本人は古くから教育をとても大切にしてきました。平安時代中期に書かれた「叡山大師伝」（最澄の伝記）には「村邑小学」という村の子供が通った教育機関が登場します。

やがて、江戸時代になると皆さんもよくご存知の寺子屋が生まれます。寺子屋では、読書、習字、算数などの基礎的な知識の習得に留まらず地理、人名、書簡の作成法などの教育が総合的に行われていました。

江戸における嘉永年間の就学率は70～80％と言われており、イギリス20～25％（1837年）、フランス1・4％（1793年）、ソビエト連邦20％（1920年）など、諸外国とは比べ物にならないくらいの驚異的な就学率でした。

幕末期には、江戸に約1500校、全国では約1万5千校の寺子屋が存在しました。幕末といえば、日本人が教育を大切にしていた事を顕著に表した故事が生まれます。

そう、長岡藩の「米百俵」です。戊辰戦争で敗れた長岡藩は7万4千石から2万4千石に減収され、実収にて6割を失って財政が窮乏し、藩士たちはその日の食にも苦慮する状態であった。

このため窮状を見かねた長岡藩の支藩三根山から百俵の米が贈られることとなった。藩士たちは、これで生活が少しでも楽になると喜んだが、藩の大参事小林虎三郎は、送られた米を売却の上で学校設立の費用とすることを決定する。

藩士たちはこの通達に驚き、虎三郎のもとへと押しかけるが、虎三郎は、こう論して、自らの政策を押し切った。

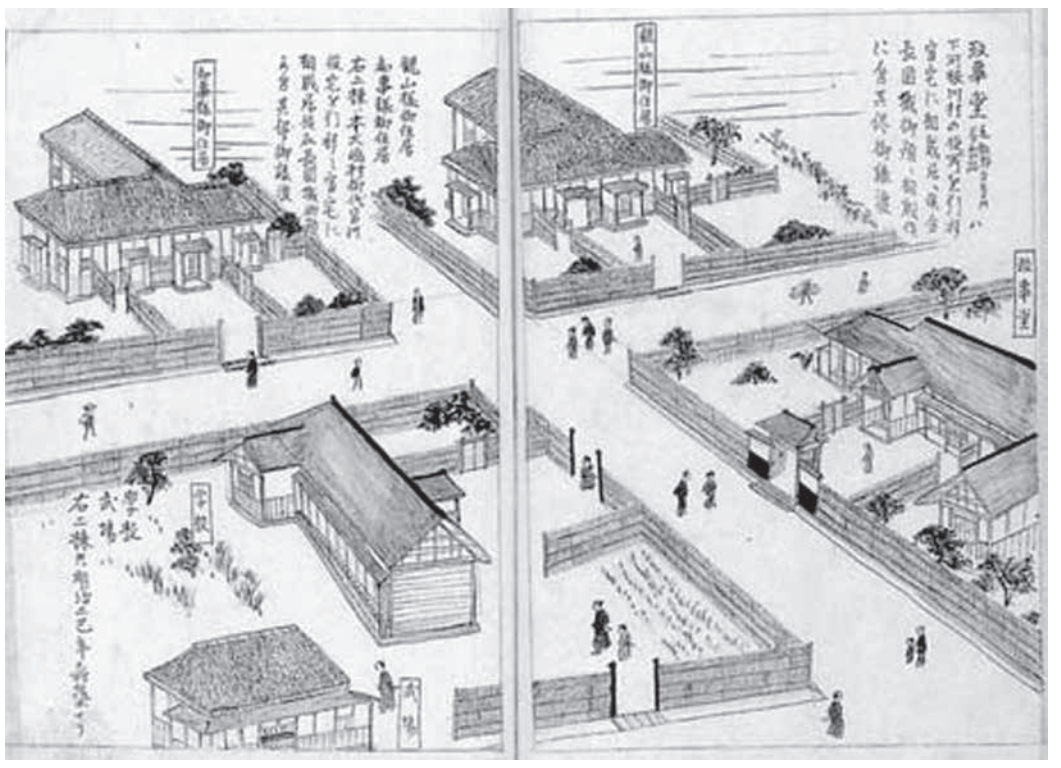
「百俵の米も、食えばたちまちなくなるが、教育にあてれば明日の一万、百万となる」

日本が多くの発展途上国にODAを通じて援助を行っているのはよく知られていますが、単なる資金援助だけでは何も解決せず、問題の先送りにしかなりません。そこで日本が最も力を入れているのが学校教育支援なのです。

算数の教科書を手作り

今回はその中で、中米のホンジュラスでのエピソードを紹介させてください。

日本が海外にODAで整備した学校の数はここ10年ほどで2300校をこえていますが、いくら校舎を作ったとしてもそれが正しく運用されなければお金をドブに捨てるようなものです。入れ物としての校舎より、むしろ本当に大事なのはどう教えるかなのです。



米百俵を売った資金で創立した「国漢学校」を描いた絵図（『懐旧雑誌』（小川當知、1879年，Public domain, via Wikimedia Commons）

そこで、多くの優秀な教師が青年海外協力隊員になって赴任し、現地の教師に教え方をコーチしています。ホンジュラスには58人の隊員が赴任し、延べ2万人の教師の指導にあたりました。

ここで、ホンジュラスという国について少し説明させて下さい。決して豊かな国とは言えません。一人あたりのGDPは世界で128位と下位に位置し、中米の他の国と較べても最貧国に位置します。

貧しさから犯罪率も高く人口10万あたりの犯罪発生率もおよそ154件、実に日本の140倍。その数字は統計の取れる国の中で世界1位になったことがあるほどです。

ある女性隊員は朝から職場に出勤すると同僚にこう尋ねられました。「宿舎からどうやってここまで来たんですか？」

彼女は相手が何に驚いているのか分からず普通に答えました。

「一人で歩いてきました」すると、職場の人達は大変驚いていたそうです。「女性が一人で歩いてくるなんて危なすぎる！」「命知らずだ！」

日本から来た隊員たちは現地の状況に言い知れぬ恐怖を感じました。しかし、自分たちにしか出来ない子供の教育の環境を整えることがこの国にとって最重要課題だ、と使命感を燃え上がらせたのです。

彼らはいろいろ検討した結果、算数に力を入れることにしました。ホンジュラス国民の平均修学年数は3・5年と短く、貧困地域の識字率は50％しかありません。その原因の一つに算数がネックになって小学校を中退していく生徒が多いことがありました。

日本人スタッフは教師への指導と共に、分かりやすい算数の教科書を作ることに取り組み始めました。「生徒たちに算数の面白さを分かってもらいたい」

試行錯誤を重ね、ついに日本人スタッフは新しい算数の教科書の完成にこぎつけました。さらにはそれが高評価をうけ、ホンジュラスの唯一の国定教科書となるまでに至りました。

また、ホンジュラス国内に留まらず、同じスペイン語を使う周辺の国々、グアテマラ、エルサルバドル、ニカラグア、ドミニカ共和国などに広めようと運動まで始まりました。

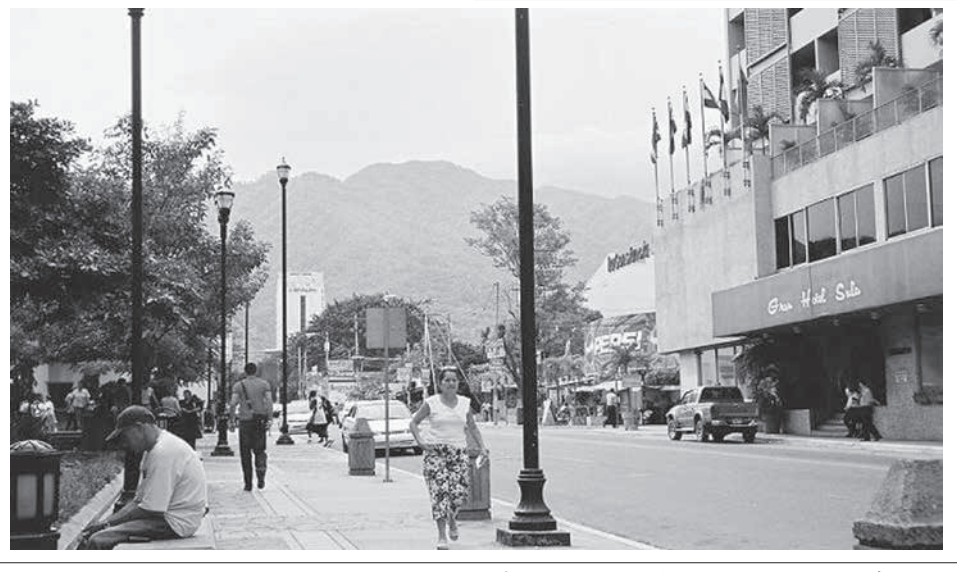
目を閉じて想像ください。日本人の先生たちが作った、親しみやすいスペイン語の教科書が子供達の手から手に渡っている光景を。そういう下地があってホンジュラスに行ったのが「米百俵」の物語でした。

中米にあるホンジュラスの地理（From Wikimedia Commons）

文化大臣が「米百俵」の演劇上演を推進

まず、ホンジュラスの文化大臣が「米百俵」のことを聞き、ホンジュラス国民の前で「米百俵」の上演を熱望しました。ついには文化大臣自ら「米百俵」の台本をスペイン語に翻訳し、2003年（平成15年）、ホンジュラス国立演劇学校の教授や生徒が中心になって、文化大臣が熱望した演劇「米百俵」の最初の上演が実現しました。

果たしてこの物語は一般のホンジュラス国民に受け入れられるのでしょうか？



ホンジュラスの経済的な首都、サン・ペドロ・スーラの商業地区（No machine-readable author provided. Juanirias assumed (based on copyright claims)., Public domain, via Wikimedia Commons）

劇が終了し、静寂の中ゆっくりと幕が閉まり始めました。そのとき観客席から割れんばかりの拍手が起こったのです。そして、拍手はいつまでも鳴り止みませんでした。

観客の目には涙がこぼれさえしていました。青年海外協力隊員となった教師が訴え続けてきた、何よりも教育が大切だと言う価値観はホンジュラス国民とも共有できるものだったのです。

劇団による米百俵の講演回数は50回を超え、米百俵の話を知らないホンジュラス国民はほとんどいなくなりました。

マドゥーロ大統領（当時）も感銘を受け、米百俵の名称を冠した100の学校建設を計画していると公言しました。そのプロジェクトによる学校建設が今でも進められています。

最後に、麻生太郎氏の外務大臣時代の演説より引用。

◎

ホンジュラスという国、日本との貿易額などわずか160億程度に過ぎません。しかし私は、有難い国だったと思います。ホンジュラスには、1998年に大災害が見舞います。

「ミッチ」という巨大ハリケーンで、人口740万人足らずの国に、死者7007人、合計61万人以上の被災者をもたらしました。

この時我が国は、自衛隊を送ります。6機の航空自衛隊C―30輸送機が太平洋を越え、物資を運びました。医師7人を含む陸上自衛隊員80人が、現地で活動しました。

これは今でこそ、当たり前の景色です。しかし、緊急医療援助で自衛隊が国外に出たのは、この時こそが初めてでした。ホンジュラスの人達は、感謝してくれました。自衛隊派遣からかれこれ10年、我々の大使が離任する時のことです。

この人は勲章をもらい、ホンジュラス国会で答辞を述べたのですが、ハリケーン「ミッチ」に言及したその瞬間でした。「日本万歳！」湧き上がった議員たちの歓声と拍手で、議場はどよめいたのであります。

わたくしおもうに、ホンジュラスは、「善意の道場」でありました。無名の日本人が善意を働こうとする、それを鍛錬してくれる現場であり、道場だったと申し上げたい。有難い国でした。（ユーチューブより抜粋）

日本の支援で100校目完成
小中高校の教育環境を整備

日本国外務省の在ホンジュラス日本国大使館サイト（https://www.hn.emb-japan.go.jp/itpr_ja/00_000064.html）には、2016年2月11日、日本の米百俵支援プログラムによる100校目の学校が建設された記念式典の様子が報告されている。以下、その抜粋。

☆

テグシガルパ市ハポン小学校増改修計画引渡式

2016年2月11日、草の根・人間の安全保障無償資金協力を通じた米百俵プログラム100校記念式典が、テグシガルパ市ハポン小学校で実施され、ゲバラ大統領代行（副大統領）、エスコト教育大臣、セラヤ・テグシガルパ市会議員、ゴメス外務省二国間協力課長、ギジェルモ・マルティネス国会顧問等、在ホンジュラス日本大使館より岡田大使等が出席した。

「米百俵」は、1870年、貧困に窮していた長岡藩が他藩から百俵の米を譲り受けたものの、将来の教育発展を第一と考え、食糧として消費するのではなく学校建設の費用に充てたという史実であり、現在の辛抱が将来利益となることを象徴する故事だ。2003年に訪日したマドゥーロ大統領（当時）に対して小泉首相（当時）が、この故事を紹介した。

テグシガルパ市ハポン小学校増改修計画引渡式の様子（在ホンジュラス日本国大使館サイトより）

それを聞いて感銘を受けたマドゥーロ大統領が、ホンジュラスの学校教育を充実させるための協力を日本に依頼し、100校の学校を整備する「米百俵プログラム」が開始された。

同プログラムは、ホンジュラスの100校の小中高等学校を対象に校舎の新規建設、増改修及び教育機材整備を行い教育環境の改善を図る計画であり、対象案件には米百俵学校記念碑の設置を行ってきた。今回の案件「テグシガルパ市ハポン小学校増改修計画」にて同プログラム100校目を達成した。

式典においてゲバラ大統領代行は、竹元元大使から岡田大使まで引き継がれた米百俵プログラムのお陰で国内100校の教育環境が改善されと述べ、日本政府のホンジュラス教育分野への支援に感謝の意を表した。

またエスコト教育大臣は、教育インフラ整備の他にも専門家やボランティア派遣、算数の教科書作成等ホンジュラス教育分野への日本の協力に対し、ホンジュラス210万人の児童生徒を代表して日本に感謝の意を表しました。

また、当日はハポン小学校児童による米百俵の演劇も披露され、観客の大きな歓声を受けた。

江戸時代の飛行機図発見

鉄砲鍛冶・国友一貫斎描く

【共同】江戸時代に鉄砲鍛冶として知られた国友一貫斎（滋賀県長浜市、1778～1840年）が描いた日本初の飛行機設計図「阿鼻機流大鳥秘術」の各部位を描いた詳細図が24日までに見つかった。長浜市の太田浩司学芸専門監は「江戸時代に空を飛んだという話は口伝ばかりで実際に図面を残した人はいない。一貫斎は本当に飛行機を造った可能性があり、本気度が伝わってくる」と話している。

尾張藩士・細野要斎の随筆「有得漫記」によると一貫斎は1830年に尾張（愛知県）に滞在。「風船を造って空を行くことや翼を造って飛ぶことは不可能なことではなく、その方法は幕府に上申した。しかし、それを造るには莫大な費用がかかる」と話していたと記していることから、図も1830年ごろに描かれた可能性があるという。

飛行機の全体図は以前から存在が知られており、市文化財に指定されているが、2019年度から2年間、研究者らで構成する資料調査委員会が一貫斎の生家を再調査して、詳細図などを発見、調査は今年3月に終わった。

新たに見つかった詳細図は縦24・3センチ、横16・8センチで10ページ。阿鼻機流はラテン語のaviculla（小鳥）に由来するとみられる。

全体図によると、飛行機は鳥形で中央部に木馬があり、飛行機は幅13・3メートルで、木馬には車輪が付いていた。詳細図によると、木馬にまたがった人間が翼を動かすと説明。翼や木馬は薄く削ったヒノキで造り、表面になめし革を貼るとしている。

米朝、対話再開巡り神経戦

「無条件」「接触考えず」
中国後ろ盾に強気の姿勢

【北京共同】無条件の対話再開を呼び掛けるバイデン米政権に対し、北朝鮮が「誤った期待は自らを失望に陥れる」（金与正朝鮮労働党副部長）などと突き放す談話を相次ぎ発表した。簡単には対話に応じない姿勢を示し、譲歩を引き出す狙いがうかがえる。中国を交えた神経戦が繰り広げられそうだ。

「貴重な時間を失う無意味な、米国とのいかなる接触も可能性も考えていない」。李善権外相は23日夜、談話を発表。金正恩総書記の妹、与正氏が前日の談話で「米国の性急な評価と臆測、期待」を一蹴したと歓迎し、いま対話に応じる考えはないことを明確にした。

正恩氏は17日の党中央委員会総会でバイデン政権の対北朝鮮政策を分析、「対話にも対決にも備えねばならず、特に対決には抜かりなく備えねばならない」と表明した。

韓国では「正恩氏が『対話』に直接言及したのは約2年ぶり」（韓国統一省）と期待が高まり、サリバン米大統領補佐官も「興味深いシグナルだ」と指摘。19～23日に訪韓した米国のソン・キム北朝鮮担当特別代表は北朝鮮に「前提条件なしにいつでもどこでも会う」と呼び掛けた。

しかし、北朝鮮は米国の「敵視政策」撤回が対話の条件だとの立場で、歩み寄る兆しはない。キム氏も日韓との協議で国連制裁の履行を強調。非核化交渉再開へ向けた米朝の接点は見えない。

一方で、北朝鮮は新型コロナウイルス対策の国境封鎖を続けながらも中朝首脳の往来記念行事を開くなど友好関係を演出。中国の劉暁明・朝鮮半島問題特別代表はロシアや英国、韓国と相次ぎ意見交換し、存在感を誇示する。米国は「われわれは外交に門戸を開き続ける」（国務省当局者）と秋波を送るが、北朝鮮は中国を後ろ盾に強気の姿勢で臨む公算が大きい。

アフガン政府半年で崩壊も
米軍撤退後、情報機関分析

【ワシントン共同】米紙ウォールストリート・ジャーナルは23日、アフガニスタン駐留米軍の撤退後、反政府武装勢力タリバンの攻勢を受けてアフガン政府が半年から1年以内に崩壊する恐れがあると米情報機関が分析していると報じた。早ければ7月にも撤退完了の見通しだが、その後のアフガン政府軍への支援策は明らかでなく、一層の治安悪化に懸念が強まっている。

アフガンでは4月下旬の米軍撤退開始後、タリバンが攻勢を強め、地方を次々と支配下に置いている。同紙によると、米情報機関は当初、撤退完了から2年程度はアフガン政府が持ちこたえると予測したが、最新の分析で大幅に短縮した。撤退完了後3カ月で崩壊するとの見方を示す他国の当局者もいるという。

米、成人70％接種達成困難
若年層とインド株課題

【ワシントン共同】新型コロナウイルスワクチンの接種ペースが落ちている米国で、バイデン政権の新型コロナ対策チームは22日、成人の70％が7月4日の独立記念日までにワクチンを1回接種するとの目標達成が困難であることを認めた。「27歳以上では達成できる」とし、今後は課題となっている18～26歳の若年層を中心に接種を促す。

またインドで最初に確認された変異株「デルタ株」の急拡大に警鐘を鳴らした。

同チームのザイエンツ調整官は記者会見で、1回接種した人は「30歳以上では70％に達した」と実績を強調。7月4日にホワイトハウス敷地内の庭園に軍や医療関係者ら千人以上を招いて新型コロナからの「独立」を祝うとした。ただ、18歳以上の成人での70％到達は目標の独立記念日から「さらに数週間かかる」とし、遅れを認めた。

同じ会見でファウチ国立アレルギー感染症研究所長は「究極の目標はこの流行の完全な終結だ」と強調し、感染力が強いとされるデルタ株が「最大の脅威だ」と訴えた。新規感染者のウイルスの分析で、5月8日に1％台だったデルタ株の割合は今月19日には20％強に急増したと指摘。ワクチンは、デルタ株に対しても発症や入院の予防効果を期待できるとの研究例を示し、接種を呼び掛けた。

対策チームによると、若年層対策ではスポーツ観戦チケットの割引など、民間がさまざまな特典を用意して協力する。

数百の墓、先住民遺骨か
カナダ中西部、寄宿学校跡

【ニューヨーク共同】カナダ中西部サスカチワン州南部のカウエセス先住民居住区の当局者は23日、同区にある先住民寄宿学校跡地から墓標などのない数百の墓が見つかったと発表した。カナダメディアが伝えた。

19世紀から20世紀にかけ、同化政策に基づき家族から引き離され、寄宿学校に入れられた先住民の子どもたちの墓地とみられる。カナダでは今年5月にも、西部ブリティッシュコロンビア州カムループスで215人の子どもの遺骨が見つかったばかり。今回はこれを上回る規模とみられ、波紋を広げそうだ。

墓が見つかったのは、1899年から97年まで開校していた「マリバル寄宿学校」。当初はカトリック教会が運営、その後に地元当局が引き継いだ。先月から跡地をレーダーで探査、多数の墓の存在が判明した。

同化政策に基づく寄宿学校には計約15万人の生徒が暮らし、虐待などで数千人が命を落としたとされる。カナダ政府が設置した調査委員会は2015年、寄宿学校に関わる当時の政策を「文化的ジェノサイド」と非難する報告を発表していた。

トルドー首相は先月末、カムループスの遺骨発見に際して「（当時の）恥ずべき政策にぞっとする思いだ」と述べた。

マカフィー創業者が自殺
米で起訴、スペインで拘束

【パリ共同】米国で脱税の罪で起訴され、スペインで拘束された米セキュリティーソフト大手マカフィーの創業者ジョン・マカフィー被告（75）が23日、収容されていた施設の独房で死亡しているのが見つかった。自殺とみられる。スペインの裁判所が米国への身柄引き渡しを決定していた。スペイン通信が伝えた。

米司法省によると、マカフィー被告はデジタル通貨の宣伝やコンサルティング業などで多額の収入があったのに納税申告しなかった罪で昨年6月に起訴された。国際手配を受け、スペイン警察は同10月、北東部バルセロナの空港でトルコへ向かう便に乗ろうとしていた被告を拘束した。

身柄引き渡しを巡る審理で、マカフィー被告は政治的迫害の被害者だと主張したが退けられたという。

相手エースと堂々投げ合い
大谷、105球の力投

【アナハイム共同＝松下裕一】相手のエースに一歩も引かず、エンゼルスの大谷が堂々の投げ合いを演じた。両リーグを通じて最高勝率を誇るジャイアンツ打線を六回まで1点に抑え、今季8勝の右腕ガウスマンと互角に渡り合った。

序盤から「ちょっと体が動きづらい」と感じていたものの、四回まで毎回走者を出しながら踏ん張った。五回1死では「ちょっと甘かった」とヤストレムスキーにソロを許して均衡を破られたが、なお1死一、二塁は「勝つ確率を残すためには一番重要なところ」と4、5番を連続三振に仕留めて脱した。六回はこの日初めての三者凡退。最後の打者となったデュボンに対してはフルカウントから真ん中への96・8マイル（約156キロ）で空振りを奪い、右拳を小さく握ってほえた。

メジャー4年目で中5日の登板が増える中、3年ぶりの100球超えとなる105球の力投で期待に応えた。

打者では「なかなか見ないような球」というガウスマンに2三振を喫した。2戦連続無安打で自らを助けられなかったが、今季8度目の投打同時出場はマウンドでの頼もしさが際立った。

ジャイアンツ戦に先発し、6回1失点だったエンゼルス・大谷。勝敗は付かなかった＝アナハイム（共同）

1日最大1万8千人確保
五輪・パラの民間警備員

【共同】東京五輪・パラリンピック組織委員会は24日、競技会場などの警備に当たる民間警備員を1日最大1万8100人確保したと明らかにした。大会と前後の期間を含めた全体では延べ60万1200人を確保。いずれも会場が満員になる想定で集めた人数となる。

21日に新型コロナウイルス対策で観客数の上限が決まったことにより、今後見直す。民間警備会社で構成する大会警備の共同企業体（JV）には、全47都道府県から553社が参画する。

民間警備員は、観客や関係者が会場に入る際の保安検査や、会場巡回、交通誘導などに当たる。東京、千葉、埼玉、神奈川の1都3県と静岡の一部会場をJVが担い、その他の地方会場は大会スポンサーのセコムとALSOKが請け負う。

21日の政府や大会組織委員会などによる5者協議で、観客は会場定員の50％以内で最大1万人に制限されることが決まった。今後合理化を進め、7月に改めて本番時の態勢を公表する予定。

力士らワクチン接種終了
新型コロナ、名古屋場所へ

【共同】大相撲の力士、親方らを対象にした新型コロナウイルスのワクチン接種が24日、東京・両国国技館で実施され、2日間の日程を終了した。

1年4カ月ぶりの地方開催となる名古屋場所は7月4日、名古屋市のドルフィンズアリーナで初日を迎える。国技館を訪れた36歳の幕内玉鷲は「あっという間に終わったけど痛かった。でも、これで安心して相撲が取れる」と語った。2度目の接種は名古屋場所後に予定されている。

田中、家族観戦なし？
日程変更チケット対応せず

【共同＝七野】東京五輪のボクシング代表に、思わぬ悩みを抱える選手がいる。男子フライ級の27歳、田中亮明（岐阜・中京高教）は競技日程の変更により、家族が会場で応援できない状況になった。「家族や知人は僕の試合を見ないと意味がないのに」と複雑な心境を語った。

同級1回戦は当初の7月28日から26日に。家族は28日のチケットに当選したが、6月になって妻がホームページで変更に気づいた。重要なスケジュールが選手に直接伝わっておらず、田中は自身のツイッターでも困惑をつづった。

新型コロナウイルス対策として、五輪は観客数上限を原則的に会場定員の50％以内、最大1万人での開催が決定。入場券の追加販売はない。家族がチケットの26日への変更を組織委員会に申し出ても受け付けられなかったという。ボクサー人生の集大成と捉える大会で、直前の“トラブル”に田中は「申し訳なく思う。何とか今のチケットを26日に使えるようにしてほしい」と切実だ。

新日程のチケットを探している日本代表選手は他にもいる。この選手は「日程変更がチケットを買った人にメールなどで通知されない。いつもホームページを見ているわけではない。1年待っている人がいるのに…。不親切だと思う」と嘆いた。

バッハ氏7月9日来日へ
関係機関、前倒しで調整

【共同】国際オリンピック委員会（IOC）のバッハ会長が7月9日に来日する方向で関係機関の調整が進んでいることが24日、分かった。当初は7月12日の予定だったが、前倒しされる見通し。複数の関係者が明らかにした。

国際課税「抜け道」に懸念
OECD会合、ルール議論

【ワシントン共同】経済協力開発機構（OECD）が6月30日～7月1日、国際的な法人税改革のルール作りに向けて交渉会合を開く。米IT大手など多国籍企業の税逃れを防ぐ制度の創設へ機運は高まるが、課税強化を免れる「特例」を巡っては関係各国が水面下で攻防。例外を認めれば「抜け道につながる」と懸念の声も上がっている。

改革はその国に本社や工場などの事業拠点がなくてもサービスの利用者がいれば徴税できる「デジタル課税」と、世界共通の「最低税率」を設けるのが柱だ。低税率国やタックスヘイブン（租税回避地）を活用した節税をしにくくした上で、各国間の税収配分も公平にする狙いがある。

約140カ国・地域が参加するOECDの枠組みで数年前からルール作りを議論してきたが、巨大IT企業を抱える米国のトランプ前政権が反発し、停滞していた。

米国の政権交代を機に急速に歩み寄り、6月初めの主要7カ国（G7）財務相会合では、最低税率を「少なくとも15％」とする案を共同声明に明記。デジタル課税は売上高や利益率の高い世界100社程度を対象にする方向で検討している。

一方で、OECD関係者によると中国や一部の新興国は外資系企業を呼び込むための経済特区への適用除外を主張。英紙フィナンシャル・タイムズは、英国が金融業界を例外とするよう求めていると伝えた。自国に有利な例外措置を設ければ、税収増や減収抑制につながるとの思惑がある。

こうした動きに対し、イエレン米財務長官は6月16日の米議会公聴会で、中国を念頭に「最低税率（の効果）を大幅に弱める、いかなる例外規定にも同意しない」とけん制。7月に開く20カ国・地域（G20）財務相・中央銀行総裁会議での大筋合意に向けて各国に働きかけている。

G7開催地で新規感染者増
英南西部、政府は影響否定

【ロンドン共同】先進7カ国首脳会議（G7サミット）が今月中旬、約2年ぶりに対面形式で開催された英南西部コーンウォールで、サミット終了前後ごろから新型コロナウイルスの新規感染者数が増加していることが22日分かった。英メディアが伝えた。英政府は影響を否定するが、地元ではサミット開催との関係は否定できないと非難の声が噴出している。

サミットは11～13日に開かれ、コーンウォールにはG7と欧州連合（EU）、オーストラリア、韓国、南アフリカの各首脳、政府代表者、世界各国メディアを含め多数が集まった。抗議デモが行われたほか、英全土から警察官が招集された。

BBC放送などによると、ロンドンを含む南部イングランドで16日までの1週間の新規感染者数が人口10万人当たり平均90人だったのに対し、コーンウォールはより深刻な131人だった。中でも、首脳らが滞在したカービスベイ、各国記者の活動拠点となったファルマス、多くの関係者が滞在したニューキーで感染者数が増えたという。

ジョンソン首相の報道官は21日、「サミットの全ての参加者が（開催期間中）新型コロナの検査を受けていた。（サミット関係者から）地域住民への感染はなかったと確信している」と記者団に説明。国内で新型コロナの規制を緩和すれば、新規感染者数が増えることが想定されており「それが今起きている」と語った。

国内ではワクチン接種が順調に進む一方、より感染力が強いインド変異株の感染者数が大幅に増えている。

新立のヒント

モロヘイヤの豚肉巻き

【共同】

● **材料**（2人分）

モロヘイヤ	100g
豚もも薄切り肉	5枚（160g）
ニンジン	70g
レモン	1/4個

● **作り方**

モロヘイヤは硬い軸を除いてさっとゆで、冷水にさらして水気をしっかり切り、しょうゆ小さじ1で下味をつけます。ニンジンは千切り、レモンはくし形に切ります。

豚肉を1枚ずつ広げ、手前にモロヘイヤとニンジンを並べ、しっかりと巻いていきます。5枚分を巻き終えたら、全体に塩と黒こしょう各少々、薄力粉小さじ1をまぶします。フライパンにサラダ油小さじ2を熱し、豚の巻き終わりを下にして焼き、こんがりと焼き色をつけます。食べやすい大きさに切って器に盛り付け、レモンを添えます。（レシピと写真・ABCクッキングスタジオ）

1人分229kcal、塩分0.7g

VENDA em BANCA

Nikkey Shimbun
ニッケイ新聞

ANO XXIV – Nº 5759 SÃO PAULO, SEXTA-FEIRA, 25 DE JUNHO DE 2021 R$ 6,00

高齢者の半数超が接種

新型コロナワクチン

全人口では19％ 9日以降、1日百万回に

【共同】国内の65歳以上の高齢者のうち、新型コロナウイルスワクチンを少なくとも1回接種した人が半数を超えたことが、政府の集計で24日分かった。高齢者への接種が始まった4月12日から2カ月余り。接種が本格化した5月の連休明け以降、ペースが加速しており、6月に入ってからは1日80万～90万回ペースで接種が進む日もある。

また、年齢を問わず全対象者への1日当たりの接種回数が6月9日以降、100万回を超えた。1回目接種を終えた人は全人口の19％となった。

23日時点で高齢者接種の累計は2434万回。菅義偉首相は7月末までの完了を目指すとしており、現在のペースが続けば7月末に8割近くになる。

政府集計によると、23日時点で少なくとも1回接種した高齢者は1813万人で51・1％。都道府県別では、佐賀（68・3％）、岐阜（65・6％）、山形（63・2％）などで接種率が高かった。

2回目も終えた高齢者は621万人で17・5％。全人口のうちで1回終えたのは2478万人で19・5％、2回目も終えたのは1100万人で8・7％となる。

6月から職場や大学での接種も本格化している。だが政府は23日、職場接種などの希望が多く、使っている米モデルナ製ワクチンが不足する可能性があるとして、職場接種や自治体による大規模接種の申請受け付けを一時停止すると発表した。現場が必要とするワクチンを政府が今後も安定して供給していけるかどうかが課題となりそうだ。

政府が目指す1日100万回接種については、6月の複数日で達成した。高齢者と医療従事者らも含めた1日当たりの接種回数の最多は14日の103万回。他に9日と15～17日も100万回を超えた。

22日時点での集計で14日に100万回を超えたことが分かっていたが、14日は月曜で、その前の週末の土日に医療従事者らに接種した分が計上されている。月曜以外の平日で100万回超となったことが分かったのは今回が初めて。

「1日150万回が限界」

河野行革相、ワクチン接種

【共同】河野太郎行政改革担当相は24日のフジテレビ番組で、新型コロナウイルスワクチンの1日当たりの接種可能数は最大150万回との認識を示した。「1日150万回近くになると限界に近い。供給が追いつかず、綱渡りになる」と述べた。システムに未入力分も含め、1日120万回程度に既に達しているとの見方も明らかにした。

23日に申請の受け付け一時停止を発表した職場接種については、最大で1日30万回規模になるとした上で「あっという間に、ものすごい量の申請があった」と説明した。

加藤勝信官房長官は24日の記者会見で、受け付け再開について「現時点で具体的なめどを申し上げる状況にない」と表明。企業が過大に申請するケースがあることから、内容の精査を急ぐ考えを示した。

政府は米ファイザー製が年内に9700万人分、米モデルナ製は9月末までに2500万人分の供給契約を結んでいる。河野氏は番組で、両社にワクチンの追加供給を求める可能性に関し「希望する国民へ接種できる量は確保している」と述べ、現時点では必要ないとした。

ワクチンの接種回数を巡っては、菅義偉首相が「1日100万回」を掲げ、今月中旬に101万回に達していたことが判明している。

陛下、五輪で感染拡大懸念

宮内庁長官が「拝察」

開会式出席は調整中

【共同】宮内庁の西村泰彦長官は24日の定例記者会見で、東京五輪・パラリンピックへの天皇陛下の受け止めについて、「陛下は現下の新型コロナウイルス感染症の感染状況を大変心配されている。国民に不安の声がある中で、開催が感染拡大につながらないか、懸念されていると拝察している」と述べた。

西村長官は「日々、陛下とお話ししている中で、私が肌感覚でそう感じている。陛下から直接そういうお言葉を聞いたことはない」と付け加えた。

陛下は両大会の名誉総裁を務め、開会式に出席し、開会宣言されることが検討されている。西村長官は「感染が拡大するような事態にならないよう、（大会）組織委員会をはじめ、関係機関が連携して感染防止に万全を期してほしい」と強調した。開会式出席や競技観戦など、大会への皇室の関わりは「関係機関と調整中。紹介できるような状況ではまだない」とだけ述べた。

五輪を巡っては、陛下は昨年2月、誕生日に際した記者会見で「世界的なスポーツの祭典が、関係する方々の尽力により、つつがなく成功裏に終えられることを願っています」と発言。その後、3月に大会延期が決定した際には「選手、大会関係者、観客にとって安全に開催され、平和で友好の輪が広がる大会になるよう願っている」という陛下の言葉を、側近が明らかにした。

日本で開催された過去の五輪では、1964年の東京や72年の札幌冬季で昭和天皇が名誉総裁として開会を宣言。98年長野冬季では、在位中の上皇さまが務めた。また、競技観戦や海外要人との交流などで、大会の成功を支えた。

認知症 1万7千人行方不明

過去最多、8年で1.83倍

【共同】2020年中に認知症やその疑いで行方不明となり警察に届け出があったのは、前年より86人増の1万7565人だったことが24日、警察庁の集計で分かった。12年の統計開始から毎年、過去最多を更新し8年で1・83倍になった。214人は昨年中に所在が確認できなかった。都道府県別では大阪が最多の1990人。

厚生労働省の推計では、団塊世代が75歳以上になる25年には、高齢者の5人に1人が認知症になるとされる。自治体は民間と連携した早期発見のネットワーク構築を、政府は発症や進行を遅らせる「予防」を目指す。

警察庁によると、19年以前に届け出があった人も含め、20年中に所在確認できたのは1万6887人。発見までの期間は受理当日が74・2％で、99・3％は1週間以内に見つかっていた。2年以上が5人いた。527人は不明中に事故に遭うなどして死亡していた。

一方、認知症以外も含む行方不明者総数は7万7022人（前年比991人減）で、統計の残る1956年以降最少だった。新型コロナウイルス禍との因果関係は不明という。

内訳は、男性4万8994人、女性2万8028人。20代が最多の1万4516人で、次いで10代1万2860人、80歳以上1万2403人。

原因、動機別で見ると、認知症も含め「疾病関係」が最多で2万3592人。ほかに「家庭関係」の1万2894人、「事業・職業関係」の7821人が目立った。

聖火リレー静岡2日目

広瀬アリスさん笑顔で快走

五輪「今からわくわく」

【共同】東京五輪の聖火リレーは24日、静岡県の2日目を迎えた。広瀬アリスさん（26）や別所哲也さん（55）ら、地元出身の俳優らが聖火をつないだ。

広瀬さんは清水港（静岡市）に停泊する「駿河湾フェリー」のデッキを笑顔で快走。走行後、「小さい頃何度も乗った、思い出のある場所で走れてうれしかった。（五輪は）今からわくわくしている」と話した。

富士山静岡空港（牧之原市）の敷地内を走った別所さんは、前のランナーから聖火を引き継ぐと「晴れてよかった」と一言。走行後の取材に「人間には祭りが必要。（新型コロナウイルス下の）新しい形の祭りが実現するよう願っている」と力を込めた。

1992年バルセロナ五輪競泳の金メダリスト岩崎恭子さん（42）は、故郷の沼津市を走り「（新型コロナ下の五輪開催に）複雑な思いもあるが、7月23日に国立競技場で聖火が無事ともることを願っています」と語った。

「平和な未来をつくる」との決意を胸に、焼津市でトーチを掲げたのは、早稲田大4年の杉本汐音さん（22）。第五福竜丸の母港だった同市で育ち、現在は東京都立第五福竜丸展示館でボランティア活動に励む。今後も「聖火のように（歴史の）記憶をつないでいきたい」と決意を語った。

静岡県での聖火リレーは25日まで続き、26日からは山梨県に舞台を移す。

静岡県沼津市で聖火皿に聖火を移すランナーの岩崎恭子さん＝24日夜（共同）

警察庁サイバー部隊創設

中ロ北朝鮮の攻撃念頭

【共同】警察庁は24日、重大サイバー事件に対抗するため「サイバー局」を創設し、全国の警察から捜査員を集めて独自捜査に当たる200人程度の「サイバー直轄隊」（仮称）を発足させる方針を決め、国家公安委員会に報告した。来年の通常国会で警察法を改正し、サイバー局は2022年4月、直轄隊は22年度内の運用開始を目指す。

中国やロシア、北朝鮮など国家レベルの関与が疑われる大規模サイバー攻撃に強い姿勢で臨む必要があると判断した。局の新設は1994年7月の生活安全局以来。皇宮警察本部を除き、警察庁が直接捜査を担うのは54年の同庁設置後初めて。

小此木八郎国家公安委員長は24日の定例会見で、新型コロナウイルスを契機とした社会のデジタル化に伴い、サイバー空間のリスクが拡大したと指摘。その上で「新たな組織構想について国民に丁寧に説明するよう指導した」と述べた。

警察庁幹部は「捜査対象は限定的で、国家の関与など背景の解明を主眼にしている。直轄隊単独での容疑者逮捕はほぼ想定していない」と説明している。

警察庁によると、サイバー局は公安や生活安全部門に分かれているサイバー事件の部門を一元化する。情報解析や民間企業との連携も担当する。局の新設に伴い、技術部門の情報通信局をなくして機能を長官官房に移し、デジタル政策や人工知能（AI）など先端技術の導入を進める。

サイバー直轄隊は組織上、関東管区警察局（さいたま市）に設置。実際の拠点は都内に設け、インターネットやサイバー捜査に精通した捜査員約200人を配置する方向で調整している。

捜査対象は重大事件に絞り①標的が行政機関や重要インフラ②捜査に高度な技術が必要③全国で同時多発的に甚大な被害が発生―などのケースを想定。証拠の差し押さえや解析のほか、容疑者の逮捕や書類送検も可能だ。必要に応じて都道府県警との共同捜査や海外機関との連携を進める。

警察法改正では、警察庁の役割に「重大サイバー事件の捜査、対策」といった趣旨の文言を盛り込む見通し。今後詳細を検討し、22年度予算の概算要求に関連費用を盛り込む方針。都道府県警に同様の組織改正は求めず、それぞれに判断を委ねる。

パンダ誕生祝い懸垂幕

百貨店 盛り上がり期待

【共同】上野動物園でジャイアントパンダの双子の赤ちゃんが誕生したことを記念し、松坂屋上野店（東京都台東区）は24日、店の外壁に巨大な懸垂幕を掲げた。地元関係者は新型コロナウイルスの影響で人通りが減る中で「上野を盛り上げてほしい」と期待を膨らませている。

懸垂幕には双子の両親のリーリー（雄、15歳）とシンシン（雌、15歳）、姉のシャンシャン（4歳）の顔写真があり、「祝 赤ちゃんパンダ誕生おめでとう」とお祝いの言葉が添えられた。

巨大な懸垂幕の出現に足を止めて見上げる人や、スマートフォンで撮影する人もいた。台東区の女性会社員（48）は「驚いて、思わず撮影した。パンダ好きの同僚に見せてあげたい。早く赤ちゃんを見に行きたいです」と笑顔を見せた。

同店では、双子が生まれた23日から「ハッピーパンダセール」を開催しており、買い物客に記念ステッカーなどをプレゼントしている。

上野観光連盟の二木忠男理事長は、23日に開催された誕生祝賀イベントで「緊急事態宣言で上野の人出が大幅に減る中、喜ばしいニュース。シャンシャンと一緒に、これからもまた上野を盛り上げてほしい」と語った。

▲上野動物園でジャイアントパンダの双子の赤ちゃんが誕生したことを記念し、松坂屋上野店に掲げられた巨大な懸垂幕＝24日午前、東京都台東区（共同）

UFOの真相解明へ

福島に国内唯一の研究所

【共同】未確認飛行物体（UFO）の謎に近づける？ 福島市飯野町地区の展示施設、UFOふれあい館に24日、「国際未確認飛行物体研究所」がオープンした。国内唯一の専門研究所を称し、インターネットを通じて国内外から研究員を募集。世界各地のUFO目撃情報を分析し、遭遇にも挑む。

初代所長に就いた、オカルト雑誌「月刊ムー」の三上丈晴編集長は開所式で「コロナ禍で巣ごもりしている人も空を見上げるきっかけになる。スマートフォンでUFOの写真を撮影し、研究所に情報を寄せてほしい」と呼び掛けた。空飛ぶ円盤と宇宙人のようなキャラクターをあしらったロゴマークも披露された。

米国防総省が昨年、雲上を飛ぶような円盤の映像を公開し、今年5月には元米当局者が「UFOは実在する」と証言するなど関心が高まっている。同館などは「今こそ存在を明らかにする時だ」と研究所開設を決めた。

発光体の目撃が相次いだことを機に、福島市と合併前の旧飯野町が1992年に同館を開設。宇宙人や空飛ぶ円盤の写真など約3千点を展示し、町おこしにも活用してきた。

「空調服」

ファン付きウエア街中でも

帝人がおしゃれ着提案

【共同】涼しい作業着をおしゃれに―。夏の建設現場の作業員らにはおなじみとなった空調ファン付きウエアを街中でも着てもらおうと、繊維メーカーの帝人がベストやジャケットなどの採用を提案している。裏地の独自技術により、前面のファスナーを全開にしても空気が漏れ出ずに衣服内に冷風が行き渡るのが特長だ。

従来のファン付きウエアは空気が漏れないよう袖口と裾を縛っており、ファンを回すと風船のように膨らんでしまう。そこで帝人は表地のほかに、通気性をコントロールした裏地を付けた「2層内圧式構造」を開発。裏地に吹き出し口を配置して冷気を逃がさず、見た目もすっきりさせた。

帝人は、繊維商社のチクマ（大阪市）と電動工具大手のマキタ（愛知県安城市）と組んで2018年から作業着を売り出し、一定のシェアを獲得。3社は今夏、普段着に使えるウエアの試験販売を始め、来年には本格的な展開を計画している。価格はファンとバッテリー込みで2万～3万円を想定している。

顧客層を広げようとした契機は、帝人の特許技術を開発した宮坂信義グローバル戦略管掌補佐が、ハンディー扇風機を手にベビーカーを押す女性を目にしたことだ。「受け入れられるかどうかは分からないが、ニーズはきっとある」と宮坂氏は言う。妊婦や若者の猛暑対策のアイテムとして売り込む考えだ。

帝人などが提案する空調ファン付きのおしゃれなウエア（共同）

日本プロ野球順位表（共同）

		勝	敗	分	率	差
セ（24日）	阪神	42	22	2	.656	
	ヤクルト	35	25	7	.583	5.0
	巨人	34	25	10	.576	0.5
	中日	27	33	9	.450	7.5
	広島	21	36	8	.368	4.5
	DeN	22	39	9	.361	1.0
パ（24日）		勝	敗	分	率	差
	クボタ	35	28	8	.556	
	リッツ	31	27	14	.534	1.5
	オリ	33	29	9	.532	0.0
	ソフト	28	29	13	.491	2.5
	楽天	29	31	10	.483	0.5
	西武	24	37	7	.393	5.5

JORNAL ニッケイ新聞 NIKKEY SHIMBUN
EDITORA JORNALÍSTICA UNIÃO NIKKEI LTDA.
Rua da Glória, 332, Liberdade,
Cep 01510-000, São Paulo – Sp, Brasil
TEL: (11) 3340-6060
Site: www.nikkeyshimbun.jp/
Facebook: www.facebook.com/NikkeyShimbun/

Diretor Presidente: Raul M. Takaki
Jornalista Responsável: Aldo Shiguti - MTb 36.982
Redator: Masayuki Fukasawa

記事に関するご意見
Redação: redacao@nikkeyshimbun.jp
配達・購読契約に関する連絡
Assinatura: nikkeyshimbun@yahoo.com.br
広告に関する連絡、問い合わせ
Publicidade: anuncio@nikkeyshimbun.jp

Periodicidade: Terça-feira à Sábado

Assinatura

	Anual	Semestral
WEB	R$ 1100,00	R$ 550,00
Impressa	R$ 900,00	R$ 480,00
Digital (PDF)	R$ 500,00	R$ 270,00